

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書(要件1)

令和 5 年 7 月 18 日

住 所 松山市宮田町 186 番地 4 松山駅前ビル 5 階
企業名 大和リース株式会社 松山支店
代表者 支店長 後藤 健治

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

大和リースは、「SDGs」に合致する企業理念のもと、既存事業を基盤として、世界の共通課題を視野に入れ事業領域の拡大を図るとともに、イノベーションを駆使して経済・環境・社会の諸課題を解決する新たな事業を創出し、社会の包摂的な成長に貢献します。
そして、世界共通ゴールである「SDGs17 目標・169 ターゲット」を見据えて、社会環境の変化に対応しながら、ステークホルダーの皆さまから信頼され、社会から選ばれ続ける企業を目指します。

3側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組み	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:R4 年 12 月 21 日
環境 社会 経済	地球温暖化防止への取組み (事務活動における GHG 排出量の削減)	・事務活動における GHG 排出量を 0 にする	毎月の環境管理委員会で GHG 排出量を確認し、削減に向けた取組を検討・実施する ・事務活動における GHG 排出量 2022 年度 11,924.85kg-CO2 2023 年度 914.39kg-CO2(5 月末時点)
環境 社会 経済	ワーク・ライフ・バランスの推進	・時間外労働 月平均 15 時間以内の継続 ・有給休暇個人取得率 80%以上の継続	毎月の安全衛生委員会で状況確認、意識付けを行う ・時間外労働 2022 年度平均 19.4 時間 2023 年度平均 15.1 時間(5 月末時点) ・有給休暇個人取得率 2022 年度 80%以上 23/24 名達成 2023 年度 平均 15.4%(6/13 時点)
環境 社会 経済	環境貢献事業の拡大	・環境に配慮した建築物の販売拡大 環境貢献売上比率 20%	環境貢献事業の拡大に必要な知識習得のための勉強会を開催、毎月の環境管理委員会で状況確認、意識付けを行う ・環境貢献売上比率 2022 年度 43.7% 2023 年度 0%(5 月末時点)

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の 3 側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年 1 回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。